

鹿部町地域おこし協力隊通信

「A級グルメ・新規事業担当」

地域おこし協力隊 阿部 成史 隊員

●あべ なるひと

宮城県石巻市出身。立命館大学政策科学部在学中に石巻市役所に入庁、東日本大震災からの復興事業に従事。2015年、地方創生系ITベンチャー企業に転職。プロジェクトマネージャーとして、北海道から沖縄まで様々な地域の支援を行う。2019年、A級グルメ構想に共感し鹿部町に移住、地域おこし協力隊となる。

恋は盲目

人は、恋をすると脳の働きが鈍くなる。物事の判断を司る前頭葉の働きが、一時的に低下するという。

こういう実験がある。ある人に、恋人の写真と友人の写真を交互に見せ、脳の働きを観察するというものだ。実験の結果、恋人の写真を見せたときだけ、他者を批判する脳の回路の働きが弱まっていることがわかった。

恋をすると、合理的な思考ができなくなり、意中の相手のことしか考えられなくなる。また、批判的な思考もできず、ともすると相手の言いなりにすらなってしまう。これがどうやら、「恋は盲目」という現象の正体らしい。

私には、ビジネスパーソンとしての師匠がいる。社会人になりたてで、右も左も分からない私に、「社会人とは、人間とはかくあるべし」という心構えを教えてくれた恩人だ。卵から孵った雛鳥に飛び方を教えるが如く、「かくあるべし」を刷り

込んでもらったおかげで、何とか今まで路頭に迷うことなくやってこられたと思う。

師匠は私に、「愛を持つこと」の重要性を繰り返し説いた。それは、お客様への愛であり、同僚への愛だ。愛を持っているからこそ、お客様の立場に立つて物事を考えることができるし、お客様の困りごとに気づくことができる。

これは単純な精神論ではなく、師匠曰く、物理学の話だ。物体を動かすためにはエネルギーが必要だ。物体Aを動かすためには、物体Bからエネルギーを伝える必要がある。エネルギーが大きく動かしやすいほど、物体を大きく動かすことができる。

人間も同じで、自分が情熱を持っているからこそ、相手に動いてもらうことができる。その強いコミットメントを、師匠は「愛」と呼んでいるのだと私は解釈している。

また、師匠は「ハートは熱く、頭はクールに」ということを何度も説いている。ただ情熱だけ燃やしても、前述のように盲目的になってしまっ

長い目で見ると良い関係は築けない。「愛」を持っているからといって、向こう見ずな自己犠牲は長続きしない。一方だけに負荷がかかっている状態だと、きつとどこかで破綻してしまう。ギブ・アンド・テイク(Give and Take)だからこそ、関係は持続可能性を持つことができる。このまち、鹿部に恋をしてしまった私は、この教えを胸に、関係を深めていこうと思う。



コミュニティバスの運行について

令和3年3月のコミュニティバスは、次のとおり運行します。

△3月の運行日▽

3日(水)
11日(木)
17日(水)
25日(木)
31日(水)

詳細は、1月号の折込チラシ及び町ホームページでご確認ください。12月の乗車数は左のとおりです。今までご利用したことがない方も是非、ご利用ください。

12月の平均乗車人数	
1便(9時美駒平発)	約1人
2便(10時20分美駒平発)	約10人
3便(12時30分大岩方面発)	約10人
4便(13時40分美駒平発)	約5人
5便(15時05分大岩方面発)	約7人
6便(16時30分いこいの湯発)	約3人



※お問い合わせ先

役場企画振興課 TEL 7-5297